

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1 月 17 日

住 所 埼玉県さいたま市桜区田島7-19-14

県内企業等の名称 藤田ゼロファン産業株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 藤田 義夫

藤田ゼロファン産業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、創業以来30有余年培ってきたパルプ由来の製品技術を活かし、生分解性及びバイオマス度の高い環境配慮型の製品開発、普及を進めることを通じて、石油由来のプラスチック廃棄物等の削減、環境負荷の低減に貢献する。

この考えは、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、会社の方針としてワンチームで取り組むことにより、SDGs達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	徹底的な使用素材の分別、リサイクル活用比率の向上を促進することにより環境負荷低減を図る。 <(現状値)2023年の数値> 再生素材の使用量:2,000kg	<2030年に向けた指標> 再生素材の使用を30%増やす <3年後に向けた指標> 再生素材の使用を20%増やす
社会	障害者自立支援、子供の健全育成等社会参加・社会貢献活動の推進を行う。 <(現状値)2023年の数値> 作業見学、実習受け入れ:小学・中学・高校で計4回	<2030年に向けた指標> 作業見学、実習受け入れ 計7回 <3年後に向けた指標> 作業見学、実習受け入れ 計5回
経済	生分解性及びバイオマス度の高い環境配慮型商品の開発、生産、普及を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 環境配慮型商品の取り扱い:20,000kg	<2030年に向けた指標> 環境配慮型商品の取り扱いを30%増やす <3年後に向けた指標> 環境配慮型商品の取り扱いを10%増やす

【記載留意点】

・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。

・指標は原則として数値目標を記載してください。

・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。